

(人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針に則る情報公開)

『神経変性疾患の創薬標的の妥当性検証』

本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

本研究の研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧をご希望の場合や個人情報の開示や個人情報の利用目的についての通知をご希望の場合も問い合わせ窓口にご照会ください。なお、他の研究参加者の個人情報や研究者の知的財産の保護などの理由により、ご対応・ご回答ができない場合がありますので、予めご了承ください。

【対象となる方】

2009 年 4 月より 2024 年 9 月までの間に、国立精神・神経医療研究センター病院で病理解剖され、剖検検体の保管および研究使用に関して同意された方のうち、病理学的解析により、前頭側頭葉変性症 (FTLD)、進行性核上性麻痺 (PSP)、大脳皮質基底核変性症 (CBD)、嗜銀顆粒性認知症 (AGD)、顕著な精神・神経疾患なしと診断された方。

【研究期間】

研究開始日より 2029 年 3 月 31 日まで

【研究代表者】

理化学研究所 脳神経科学研究センター 上口 裕之

【研究責任者】

国立精神・神経医療研究センター病院 臨床検査部 高尾 昌樹

【試料・情報の利用目的及び利用方法並びに利用する者の範囲】

FTLD は厚生労働省が定める指定難病であり、根本的な治療法は未だありません。原因の 1 つとして、タウと呼ばれる細胞骨格を形成するタンパク質が異常に凝集・沈着することが考えられています。我々は FTLD モデル動物の脳組織において、発現が増加する分子を複数同定し、これら分子が病態の進行に関わることを見出しました。そこで FTLD を含むタウが凝集・沈着する疾患において上記分子の発現を解析し、ヒトにおける病態の関与を調べ、治療薬開発を進めることを目指します。研究は理化学研究所において研究責任者の研究室に所属し、その管理下にある者により実施されます。

【利用又は提供する試料・情報等】

試料：前頭葉、側頭葉、海馬のパラフィン包埋切片並びに凍結組織

情報等：付随する情報（年齢、性別、脳重、死因、剖検までの時間、病理解析結果、病理診断名、病歴、臨床症状、臨床診断名、投薬歴、検査結果、神経放射線画像、感染症の有無等）

提供する試料・情報の取得の方法

試料：ご遺族の同意を得て NCNP ブレインバンクに寄託された検体

情報： 試料に付随してブレインバンクに集積する情報

【利用又は提供を開始する予定日】

研究開始日を予定しています。

【共同研究機関】

理化学研究所 脳神経科学研究センター 上口 裕之（研究代表者）

○問い合わせ窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター

所属 病院 臨床検査部 氏名 高尾昌樹

電話番号 042-341-2711（代表）

○苦情窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター倫理委員会事務局

e-mail : ml_rinrijimu※ncnp. go. jp（「※」を「@」に変更ください。）